

チェルムスフォードの風 in 2017

(10日目)

今日はロンドン観光です。前々日のウェストミンスター事件で一部車窓からの見学となりますが、安全に万全の注意をして、ロンドンを見学したいと思います。

市内に入るまでは渋滞もなく、順調にバスは進みます。予定通り、ロンドン塔前でトイレ休憩です。トイレは有料で、生徒達は50ペンスを払っての初体験です。駅の改札のような感じでした。テムズ川とタワーブリッジを背景に記念撮影をした後は、寒さもあってお店に入ってお買い物タイム！ロンドンの物価の高さに、生徒たちはビックリしたようです。



バスに乗り、テムズ川沿いにバッキンガム宮殿に向かいます。事件のあったウェストミンスター橋は、特に交通規制もなく普段と変わらないように見えます。車窓からビックベンや国会議事堂、ウェストミンスター寺院を眺めました。バスの運転手さんが親切に何回か回ってくださったので、生徒たちも十分に楽しめたと思います。議事堂を始め、市内のいたるところで半旗

が揚げられています。警察官の数も、多いように思えます。普段と変わりなく見える一方で、事件の陰が伺えます。バッキンガム宮殿（ここも半旗が揚げられていました）の近くでバスを降り、遠くから宮殿の庭で行われている衛兵交代を眺めます。相変わらずこの周辺は観光客でごった返しています。花が美しいジェームズパークを通り抜け、ホースガードの馬の賢さに感嘆し、トラファルガー広場に向かいます。トラファルガー広場では、ネルソン提督の像や日本橋三越でお馴染みのライオンの像の前で写真を撮る人がいたり、ヨーダに扮した大道芸人がいたり、賑わっていました。そこからさらに歩いてコヴェントガーデンに行きました。ここは毎日開かれるマーケットやおしゃれなお店が立ち並ぶことで、近年注目されているロンドンの観光名所です。平日に関わらず、結構な賑わい



賑わいです。生徒達は安全に注意しながら、昼食や買い物を楽しんでいました。あっという間に集合時間となり、大英博物館に向かいます。持ち物検査をする場所が作られていて、これも事件の影響かなと感じます。まずは、ロゼッタストーン。かなりの人だかりがしています。ラムセス2世やアメンホテップ3世の像を眺めながら、パルテノン神殿の遺跡コーナーに向かいます。ガイドの獅子倉さんが的確なガイドをしてくださり、美術館のあまりの広さに戸惑う生徒たちには大助かりで

す。この後フリータイムとなりましたが、多くの生徒がミイラコーナーや日本美術コーナー等に行ったようです。が、2時間弱では到底見切れません。いつかまた、再訪して欲しいなあと思います。バスに乗り、帰途に着きます。途中、セントポール寺院に立ち寄る予定でしたが、金曜日の仕事帰りのラッシュが始まり、やむなく車窓からの見学に留めました。途中、道の真ん中にドラゴンの像があったのですが、ステラ先生によるとシティの入り口であることを示すものだそうです。なるほど…ですね。生徒達は、残り少ないイギリス滞在の時間を惜しむかのように、バスの中でお喋りに興じています。ひょっとしたらお腹が空いて眠れないだけかもしれませんが…。途中渋滞もあり、予定より10分程度遅れてチェルムフォードに帰ってきました。明日はホストファミリーと過ごす最後の1日。午後にはバーバラさん宅でのティーパーティーも予定されています。バーバラさんはじめ、ホストファミリーの方々は、この13日間、生徒達が過ごしやすいように、いろいろな心遣いをしてくださっています。その心遣いには、本当に頭が下がる思いです。いつか生徒たちも逆の立場になった時に、そういうことの出来る人になって欲しいなと願います。

